

亜細亜大学

ながつな けんご  
永綱 憲悟

亜細亜大学 学長



「楽しくなければ大学じゃない面白くなければ学問じゃないアジアと共に亜細亜大学」。学長就任にあたり掲げたこの37文字のスローガンには、学生への想い、大学運営に取り組む決意が表れている。

大島正克学長の任期満了に伴い、10月1日付で、永綱憲悟国際関係学部教授が亜細亜大学第12代学長に就任した。

永綱学長は1952年福岡県生まれ。東京大学法学部に進学し、同大学院法学政治学研究科にて研究を重ね、1984年、国際関係学部講師として亜細亜大学に

着任。以来今日まで教壇に立ち、同学部長を務めた経験を持つ。専門は比較政治論で、ロシアの現代政治をロシアの歴史の文脈に位置づけ、同時に比較政治論の理論枠組みからも分析することを目指している。

現在、教壇にも立つが、ゼミでの国際関係クイズ合戦、また学生たちと年に一度ロシア料理レストランに行くこと（その再開）を楽しみにしている。むろんゼミ生のみならず、すべての学生に亜細亜大学で過ごした時間は最高に素晴らしいかったと語ってもらえることが最大の目標である。

恵泉女学園大学

ひろせ かおる  
廣瀬 薫

学校法人恵泉女学園 学園長



7月1日付で学園長に就任。1956年新潟県出身。東京大学工学部都市工学科卒業。8年間の大手ゼネコン勤務を経て、牧師に転身。東京基督教神学校卒業。日本同盟基督教団牧師。神奈川県と東京都の教会に仕えた後、

教団本部勤務を経て、東京キリスト教学園理事長を8余年担う。併せて、日本福音同盟理事長、日本同盟基督教団理事長、日本キリスト教連合会常任委員、東京都宗教連盟理事、日本宗教連盟評議員、文化庁宗教法人審議会委員、新潟聖書学園理事、聖書を読む会理事、太

平洋放送協会評議員等を歴任（一部現職）。著書に、『良く生きる手がかり』（シリーズ7冊）、『共同研究 日本ではなぜ福音宣教が実を結ばなかったか』（共著）等。

先進的な女性キリスト者であった河井道が1929年に創設した恵泉女学園の学園長として、大学では、建学の礎である「聖書」「国際」「園芸」を大切にしつつ、不確実さを増す未来を「生涯就業力」を身に付けて生き生きと歩み、自分を活かし、喜んで周りを活かす教育の充実発展を目指す。

**大六野 耕作**(だいろくのこうさく)

明治大学長・政治経済学部教授。'82同大学院政治経済学研究所博士後期課程単位取得退学。専門は比較政治論。'20より現職。

**田中 愛治**(たなかあいじ)

早稲田大学総長。'85米国オハイオ州立大学博士課程修了。政治学博士(Ph.D)。早稲田大学教授、理事等を経て、'18より現職。

**山田 純**(やまだじゆん)

芝浦工業大学学長・工学部長・機械工学科教授。東京工業大学卒。博士(工学)。東京工業大学助手、山梨大学助教授を経て、'05より芝浦工業大学。

**原科 幸彦**(はらしなさちひこ)

千葉商科大学学長。'75東京工業大学大学院理工学研究科博士課程修了(工学博士)。同大名誉教授。'17より現職。専門は社会学、環境計画・政策。

**高祖 敏明**(こうそとしあき)

聖心女子大学学長。'76上智大学大学院文学研究科教育学専攻博士課程満期退学。上智学院理事長を経て、'19より現職。共編著『潜伏キリシタン図譜』(2021年)ほか。

**松本 広重**(まつもとひろしげ)

九州大学カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所副所長、教授。'04九州大学工学研究助教授。'13より現職。専門は、固体電気化学、固体イオニクス。

**谷口 真人**(たにぐちまこと)

総合地球環境学研究所副署長、教授。'87筑波大学大学院地球科学研究科修了。理学博士。CSIRO、奈良教育大学を経て、'08より現職。主編著『地下水流動』など。

**音好 宏**(おとよしひろ)

上智大学文学部教授。'90上智大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。専門はメディア論。主著『放送メディアの現代的展開』ほか。

**高岡 淳**(たかおかじゆん)

学校法人関西大学常任理事、総務局長。'88関西大学入職、'09秘書課長、'16より総務局長。同年評議員を経て、'20より常任理事。

**満田 憲昭**(みつだのりあき)

愛媛大学理事・副学長(学術・経営情報分析)。医学系研究科教授。'84東京大学理学部卒業。'90大阪大学医学部卒業。博士(医学)。

**吉田 典子**(よしたのりこ)

久留米大学人間健康学部長・保健管理センター産業医。'84久留米大学医学部卒業。博士(医学)。久留米大学医学部内科学講座心臓・血管内科を経て現職。

**鈴木 明子**(すずきあきこ)

城西国際大学看護学部看護学科長。東京医療保健大学大学院医療保健学研究科博士課程修了、博士(感染制御学)。'214月より現職。

**馬場 俊和**(ばばとしかず)

青山学院大学事務局長。'82青山学院大学文学部卒業。入職後、学務、システム、管理部門を経て、'19より現職。

**伊勢戸 康**(いせとやすし)

公益財団法人大学コンソーシアム京都専務理事・事務局長。京都産業大学外国語学部卒業。学校法人龍谷大学瀬田事務部長等を経て、'20より同財団出向、現職。

**杉山 晃**(すぎやまあきら)

学校法人清泉女子大学理事長。東京外国語大学大学院修士課程修了、スペインUNED博士課程単位取得後退学。'21より現職。主著『ラテンアメリカ文学バザール』など。

**加藤 将樹**(かとう まさき)

同志社大学理工学部教授・リエゾンオフィ  
ス所長。'04京都大学大学院理学研究科博  
士後期課程中退。博士(理学)。京都大学  
を経て、'11より現職。共著『無機固体化学』。

**中武 貞文**(なかたけ さだふみ)

鹿児島大学産学・地域共創センター准教  
授大阪大学理学研究院修了。鹿児島大学  
大学院人文社会科学研究所博士課程単  
位取得退学。'08より現職。

**酒井 克也**(さかい かつや)

学校法人立命館総合企画部次長。

**富田 沙樹**(とみた さき)

学校法人立命館総合企画部起業・事業化  
推進課。

**山岸 広太郎**(やまぎし こうたろう)

株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ  
代表取締役社長、慶應義塾常任理事。'99慶  
應義塾大学経済学部卒業。株式会社日経  
BP、グリー株式会社副社長等を経て現職。

**加藤 久仁**(かとう くに)

株式会社NHKエンタープライズイノベー  
ション戦略室エグゼクティブ・プロデュー

サー。'81早稲田大学政治経済学部卒業。同  
年NHK入局。以後、番組編成、制作等を経  
て、'21より現職。

**益田 啓裕**(ますだ けいすけ)

追手門学院大学心理学部講師。'17大阪大  
学連合小児発達学研究所小児発達学専  
攻博士課程修了。博士(小児発達学)。'19  
より現職。臨床心理士・公認心理師。

**角野 幸博**(かどの ゆきひろ)

関西学院大学建築学部長・教授。大阪大  
学大学院工学研究科博士課程修了。工学  
博士。関西学院大学総合政策学部教授を  
経て現職。主著『鉄道と郊外』(編著)等。

**谷 知子**(たに ともこ)

フリス女学院大学文学部日本語日本文学  
科教授。'90東京大学大学院人文科学研究  
科博士課程単位取得退学。博士(文学)。主  
著『和歌文学の基礎知識』(角川選書)。

**高岡 素子**(たかおか もとこ)

神戸女学院大学人間科学部環境バイオサ  
イエンス学科教授。神戸大学大学院自然科  
学研究科修了(学術博士)。鎌倉女子大学  
等を経て、'06より神戸女学院大学に赴  
任。'11より現職。

**吉金 優**(よしかね ゆう)

ノートルダム清心女子大学人間生活学部  
准教授・産学連携センター長。'08愛媛大学  
大学院連合農学研究科修了。博士(農  
学)。高知大学を経て、'18より現職。

**山上 裕一朗**(やまがみ ゆういちろう)

芝浦工業大学工学部機械工学第二学科(現  
機械機能工学科)卒業。工作機械メーカー  
DMG森精機株式会社を経て、津別町の「株  
式会社山上木工」の専務取締役を務める。

**川島 葵**(かわしま あおい)

フリーアナウンサー。上智大学文学部卒。  
'12からフリー。東海ラジオ「TOKYO UPSIDE  
STATION」、川島葵の東京からも歌謡  
曲」などに出演。

〈お断り〉本稿は、お書きいただいた資料から、  
できる限り統一して掲載いたしました。

会長の動き

- 11月1日(月) 明治大学周年式典に出席
- 11月2日(火) 第8回常務理事会に出席(ハイブリッド開催)
- 11月16日(火) 主要国会議員に予算要望・税制改正、ガバナンス要望
- 11月19日(金) 理事補欠選挙の選考委員会に出席
- 11月22日(月) 全私学連合で末松文部科学大臣を表敬訪問。ガバナンス改革等に関し意見交換。
- 11月24日(水) 主要国会議員に予算要望・税制改正、ガバナンス要望
- 11月25日(木) 経団連「採用・インターンシップ分科会」に出席(オンライン)
- 11月29日(月) 自民党文部科学部会のカバナンスに関するヒアリングに出席
- 11月30日(火) 第7回理事会、第2回総会に出席(ハイブリッド開催)

- 12月2日(木) 主要国会議員に予算要望・税制改正、ガバナンス要望
- 12月14日(火) 第9回常務理事会に出席(ハイブリッド開催)
- 12月16日(木) 主要国会議員に予算要望・税制改正、ガバナンス要望

開催報告

- 11月6日(土) 教育研究シンポジウム(オンライン開催)
- 11月16日(火) 令和3年度財務・人事担当理事者会議【秋季】(オンライン開催)
- 11月18日(木) 国際連携委員会私費外国人留学生入国再開に関する質問会(オンライン開催)
- 12月10日(金) 令和3年度私大連理工系学部長会議(オンライン開催)

▼ 各資料や開催の概要は、左記の私大連Webサイトをご覧ください。

私大連Webサイトにて  
各種活動に関する情報を公開

<https://www.shidaiaren.or.jp/>



私大連 TOPICS

令和3年秋の叙勲・褒章  
(私大連事業関係者)

- ◆ 旭日中 綬章  
(東京国際大学 理事長・総長)
- ◆ 倉田 信靖  
(東京国際大学 理事長・総長)
- ◆ 内藤 政武  
(学習院名誉院長)
- ◆ 瑞宝重光章  
川口 清史  
(立命館 元総長・元大学長)
- ◆ 杉原 左右一  
(関西学院大学名誉教授)
- ◆ 瑞宝中 綬章  
加藤 吉則  
(立正大学名誉教授)
- ◆ 深田 三徳  
(同志社大学名誉教授)
- ◆ 森本 雍憲  
(城西大学名誉教授)
- ◆ 渡邊 利夫  
(拓殖大学顧問)
- ◆ 瑞宝小 綬章  
薬師寺 仁  
(東京歯科大学名誉教授)



座談会 「学園祭のいま」

特集 「大学職員のワークスタイル—ニューノーマル時代の働き方を考える—」

小特集 「しょうがい学生の大学生活と支援の実際」

だいがくのたから ノートルダム清心女子大学 大学点描 東海大学

クローズアップ・インタビュー 町田樹さん(國學院大學人間開発学部助教、振付家、元プロフィギュアスケーター)

## 編集後記

◆新型コロナウイルスの新たな変異株「オミクロン株」への懸念が国際的に広がっている。この号が出るころにはどうなっているだろう。2021年夏、感染防止策として進められたワクチンの職域接種。対面授業をどのように再開するかを模索していた各大学は急いで準備にとりかかったものの、ワクチンの供給不足から開始時期を1〜2カ月待たされることも多く、一方で、政府高官からは「秋学期開始までに接種を終わらせる」といった発言も繰り返された。

特集では、そのような状況で、準備から実施まで様々な取り組みを展開した事例を紹介した。持病などの理由から「打たない自由」もある中、若い世代には、ネット上のフェイク情報に惑わされ、接種へ消極的な傾向も見られた。いかに学生への接種を進めるか。各大学とも知恵を絞っていた。3回目接種に向け、フェイク情報への対策とともに、学生に対して、エビデンスに基づいた説明がより求められるだろう。へ広報・情報委員会大学時報分科会委員・関西学院広報室課長横川修

◆小特集では、具体的な起業事例に触れつつ、各大学での起業支援の取り組みを執筆いただいた。SDGs、ESG重視の流れが強まり、社会課題解決と収益事業(ビジネス)の両立が求められる中、課題解決に向けたイノベーションの起点として、スタートアップ企業の存在がより重要性を増してきている。大学(またはそれに付随するベンチャーキャピタル等の組織)におけるスタートアップ支援は、学生の起業活動を通じた教育(起業家マインドの育成)と、研究シーズの事業化・投資育成に分類できる。前者は、課題解決のマインド醸成から起業支援までの一連の取り組みに伴走する仕組みとなる。後者は、主に教員を対象として、テクノロジを軸とした研究シーズの事業化である。いずれのケースも、行政・企業・地域・市民らと連携して進める、多彩な挑戦が変革をもたらす点では共通している。そういう意味でも、今回の小特集が小さなつながり、挑戦を生み、未来の可能性となれば幸いである。へ広報・情報委員会大学時報分科会委員・立命館総合企画部広報課長立岩健一

◆昨今、カーボンニュートラルやデジタル田園都市国家構想という言葉をよく耳にする。また、政府は骨太方針2021に「日本全体を元気にする活力ある地方創り」「グリーン社会の実現」を掲げ、推進している。大学においては、時勢によりキャンパスが郊外と都市部を往來しているが、国の方針やコロナ禍をどう捉えていくのか。

今号の座談会は、大学のカーボンニュートラル実現への取り組みをテーマとした。東日本大震災後、原発ゼロの声・政策が国内外で広がったが、現在は「2050年カーボンニュートラルの実現」に向けて脱炭素が最重要課題に位置付けられ、原発活用推進の声が大きくなっている。

国・大学ともに、時代の潮流に乗りつつも、目先の利益や一時の世論にとらわれない、揺るがない志による先を見据えた政策の検討と決断が肝要である。そのためにも、インタビューでお迎えした山上裕一朗氏のような、壮大な夢と多大な熱量、そして実行力を兼ね備えた人材が今こそ必要ではなからうか。へ日本私立大学連盟事務局・明治大学出向水田悠平

# 一般社団法人 日本私立大学連盟 加盟大学一覧

※ 大学名ABC順 / ※ } は同一学校法人 (125大学 令和4年1月20日現在)

愛知大学	金沢星稜大学	南山大学	大正大学
亜細亜大学	関西大学	日本大学	拓殖大学
青山学院大学	関西学院大学	日本女子大学	天理大学
跡見学園女子大学	関東学園大学	ノートルダム清心女子大学	東邦大学
梅花女子大学	関東学院大学	大阪学院大学	東北学院大学
文教大学	慶應義塾大学	大阪医科薬科大学	東北公益文科大学
筑紫女学園大学	恵泉女学園大学	大阪女学院大学	東海大学
中央大学	敬和学園大学	大谷大学	常磐大学
中央大学	神戸女学院大学	追手門学院大学	東京医療保健大学
大東文化大学	神戸海星女子学院大学	立教大学	東京女子大学
獨協大学	皇學館大学	立正大学	東京女子医科大学
獨協医科大学	國學院大学	立命館大学	東京経済大学
姫路獨協大学	国際武道大学	立命館アジア太平洋大学	東京国際大学
同志社大学	国際基督教大学	龍谷大学	東京農業大学
同志社女子大学	駒澤大学	流通科学大学	東京情報大学
フェリス学院大学	甲南大学	流通経済大学	東京歯科大学
福岡大学	久留米大学	西武文理大学	東洋大学
福岡女学院大学	共立女子大学	聖学院大学	東洋英和女学院大学
福岡女学院看護大学	京都産業大学	成城大学	東洋学園大学
学習院大学	京都精華大学	聖カタリナ大学	豊田工業大学
学習院女子大学	京都橘大学	成蹊大学	津田塾大学
白鷺大学	九州産業大学	西南学院大学	和光大学
阪南大学	松山大学	聖路加国際大学	早稲田大学
広島女学院大学	松山東雲女子大学	清泉女子大学	山梨英和大学
広島修道大学	明治大学	聖心女子大学	四日市大学
法政大学	明治学院大学	専修大学	四日市看護医療大学
兵庫医科大学	宮城学院女子大学	石巻専修大学	
兵庫医療大学	桃山学院大学	芝浦工業大学	
実践女子大学	桃山学院教育大学	白百合女子大学	
上智大学	武蔵大学	仙台白百合女子大学	
城西大学	武蔵野大学	昭和女子大学	
城西国際大学	武蔵野美術大学	創価大学	
順天堂大学	名古屋学院大学	園田学園女子大学	

## 大学時報

University Current Review

2022/1月号

第71巻402号(通巻415号)

令和4年1月20日発行

編集人 音好宏(上智大学文学部教授)

発行人 植木朝子(同志社大学学長)

発行所 一般社団法人 日本私立大学連盟

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25  
私学会館別館

電話 03-3262-8672 FAX 03-3262-4363

<https://www.shidaiaren.or.jp>

編集 株式会社 WAVE

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田3-3-20  
明治安田生命大阪梅田ビル3階

〒104-0061 東京都中央区銀座3-10-9

KEC銀座ビル9階

松田美佐(中央大学文学部教授)  
小島隆久(同志社女子大学広報部広報室長)  
須藤智徳(法政大学多摩事務課課長)  
中山映(上智大学総務局SGU事業推進室長)  
依藤康正(関西大学総合企画室広報課長)  
横川修(関西学院広報室課長)  
田上雅徳(慶應義塾大学法学部教授)  
江津英昭(明治大学経営企画部広報課長)  
長野香(立教学院広報室長)  
立岩健一(立命館大学総合企画部広報課長)  
山田健太(専修大学文学部教授)  
高橋慈海(大正大学魅力化推進部長)  
大谷奈緒子(東洋大学社会学部教授)  
鈴木宏隆(早稲田大学広報室長)  
齋藤淳(日本私立大学連盟事務局)  
加賀崎奈美(日本私立大学連盟事務局)  
水田悠平(日本私立大学連盟事務局)  
太田祐輔(日本私立大学連盟事務局)

